

「この 20 年間での大阪湾の付着生物相の変化について」

1995 年に、矢持先生らの大阪湾の護岸付着生物調査によって、湾奥の護岸壁面にはムラサキイガイが大量に付着するものの、夏季にはそれらが全て脱落することが初めて報告されました。その後、RACES では、2006 年と昨年夏季に簡易な付着生物調査が行われましたが、この 20 年あまりの間に大阪湾では過栄養な状態から、貧栄養な状態が一部の海域認められるようになってきました。本サロンでは、これらの生物、水質データを解析し、大阪湾の水質、特に付着生物相の変化傾向などについて紹介します。

- テーマ 「この 20 年間での大阪湾の付着生物相の変化について」
- 主催 一般社団法人 生態系工学研究会 (RACES)
- 日時 2018 年 3 月 25 日 (日) 14:00~16:30
- 場所 大阪府立大学 I-site なんば 2F セミナールーム S1
大阪市浪速区敷津東 2 丁目 1 番 41 号 南海なんば第 1 ビル 2・3 階
- 会費 会員・非会員・学生：無料 懇親会費として 会員・非会員：5,000 円、学生：2,000 円 (当日会場にて申し受けます)
- 申込 生態系工学研究会ホームページ (<http://races.jp/>) より登録フォームにてお申し込みください
- お問い合わせ先 生態系工学研究会 事務局 e-mail: office@races.jp
- プログラム

- 14:00~14:10 開会挨拶 及び 趣旨説明 上月康則 (RACES 会員)
- 14:10~14:35 話題提供①：「大阪湾の水質・底質変化」 大谷壮介 (RACES 会員)
- 14:35~15:00 話題提供②：「尼崎港内の水質と付着生物相の変化」 三好順也 (RACES 会員)
- 15:00~15:10 休憩
- 15:10~15:40 話題提供③：「この 20 年間での大阪湾の付着生物相の変化傾向」
吉村直孝 (RACES 会員)
- 15:40~15:50 休憩
- 15:50~16:25 意見交換 (質疑応答・討論)
- 16:25~16:30 閉会挨拶



【I-site なんば 会場案内】

- ◆ 南海電鉄「なんば駅 (中央出口)」下車、南海線東側の道を南へ約 800m、徒歩約 12 分
- ◆ 地下鉄御堂筋線「なんば駅 (5 号出口)」下車、南へ約 1,000m、徒歩約 15 分
- ◆ 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅 (1 番出口)」下車、東へ約 450m、徒歩約 7 分
- ◆ 地下鉄堺筋線「恵美須町駅 (1-B 出口)」下車、西へ約 450m、徒歩約 7 分
- ◆ 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ 420m、徒歩約 6 分

(ご注意)
建物北側の大阪府立大学専用入口からお入りください。

URL : <http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenamba/about/map/>